

令和3年5月

GIS 基礎技術研究会会員各位

ごあいさつ

前略、会員の皆様におかれましては、益々ご精勤、ご活躍のことと存じます。平成9年より始まった GIS 基礎技術研究会は、今年で25年目を迎えることとなります。さて、昨年度は新型コロナ感染の影響のため、実習を8月からの開催とし、講演を4回（プラス GISDAY として1回）、実習は例年同様8回（月2回の開催）のスケジュールで開催させていただきましたが、今年度は、例年通り、講演会・実習を年8回（GISDAY を含めると講演は10回）で開催したいと考えております。また、講演会につきましては、昨年度は対面とオンラインのハイブリッド形式による講演としておりましたが、遠方からの参加者からは好評であったことから、今年度も講演をハイブリッド形式で対応させていただきたいと思っております。これにより週末に会場に来られる皆様方の負担は少しでも軽減できると思っております。もちろん、対面での講演も同時開催ですので、会場で直接講師の話を聞きに来られることについては問題ありません。

実習につきましては、今年度、コースの大幅変更を行います。従来は、ArcGIS Desktop を用いた初級・応用コースの講義を行っておりましたが、esri のソフトウェア開発状況がほとんど ArcGIS Pro に移行されるつつある現状を鑑み、通常の実習につきましては、ArcGIS Pro による初級コースのみの開催とし、現在オリジナルテキストの作成を行っているところです。なお、従来の ArcGIS Desktop による応用コースについては、夏季特別コースとして開催させていただき、昨年度初級コースを受講された方のフォローも行います。また、コンサルティング・技術相談を中心とした個別テーマコースも従来通り開催します。なお、来年度は、ArcGIS Pro の応用コースも開設していく予定にしております。なお、この実習内容の変更などに伴い、年間スケジュールを少し変更しております（実習のみの月を11月から10月に変更。2月の研究会を午後からスタート）。詳細につきましては案内をご覧くださいと思います。

なお、今年度も新型コロナによる影響のため、会員の皆様には色々ご迷惑をおかけすることがひょっとしたら発生するかもしれませんが、昨今の事情をご拝察いただければと思います。

さらに、毎回のご案内になりますが、この GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人「環境システムフロンティア」の事業の一つとして実施しているものです。昨年度、NPO 法人では、事業活動の見直しを図り、これまでの事業活動に加えて「災害救援事業」、「地域安全活動」、「情報化社会の発展を図る事業」を新たに加え、活動の幅を広げております。これまでは大きな事業としてこの GIS 基礎技術研究会しか事業展開を行っていませんでしたが、昨年度は、地域防災活動支援事業、デー

クラウドに関する事業、九州北部豪雨災害の支援事業などを NPO の会員の協力のもと実施しました。NPO の会員となりますとこれら NPO が受託した事業と一緒に実施することが可能となります。また、寄付控除についても対象となります。事業の詳細につきましては、本年度のご案内の最終ページをご覧ください。

このような NPO の活動についてご理解、ご賛同いただける皆様には、是非とも本 NPO の会員として NPO に参画していただきたく存じます。ご賛同いただける方は申し込み書中に入会の意思を示していただくだけで結構です。なお、NPO の会員になられた方は GIS 基礎技術研究会の会費の一部を NPO の会費に充当させていただくこととなりますが、追加のご請求等はありません。

末尾ながら、皆様と共に新たな地理空間情報技術を学び、更なる発展を期することを願っております。何かご質問やご意見がございましたら下記まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

敬具

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学内
特定非営利活動法人 環境システムフロンティア
理事長 三谷 泰浩

問い合わせ先：NPO 法人環境システムフロンティア事務局
E-mail: gis.kenkyukai@gmail.com 電話 092-802-3399

令和3年度 GIS 基礎技術研究会のご案内

昨年度は未曾有のコロナ禍に見舞われ、その影響で本会の開催自体が危ぶまれる中、皆様から多大なるご理解・ご協力を賜りました。お蔭様で、研究会発足から途絶えることなく、25年目となる本年度を無事迎えることが出来ました。本研究会に積極的なご指導とご協力を賜りましたこと改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年度は8月より講演会を5回、実習を年8回開催して参りましたが、今年度は例年のとおり6月からの開催とし、講演を8回、実習を8回のスケジュールで行う予定です。

詳細につきましては、第1回目の講演会開催時にご説明致しますが、概要は下記の通りです。ご協力の程お願い致します。また、GIS 基礎技術研究会の入会申し込み、実習の希望コースの申し込みにつきましてもよろしく申し上げます。

－運営方法の要点－

(1) 名称

名称は昨年度と同様 GIS 基礎技術研究会とします。

(2) 会員、会費等

① 会員は個人会員、特別会員（官庁関係等）、法人会員とします。会費は例年と同様とし、個人会員1万円、特別会員3万円、法人会員6万円とします。

② 特別会員（官庁関係者）については、1口につき3名まで出席可能とします。

※法人会員についても同様3名までです。

③ 実習費は別途1名につき2万円とします。

④ GIS ソフトウェア1本の年間利用費は、基本料として年額4万円（九州大学学内利用者は年額2万円）とし、ソフトウェア1本を含みます。また、ソフトウェア本数を追加する場合は基本料に加え、追加する本数に5千円を乗じた価格になります（九州大学外利用者の場合：1本追加（合計2本）は4万5千円）。なお、GIS ソフトウェアの年間利用を申し込む会員は、別途、本会代表とGIS ソフトウェア利用に関する契約を行う必要があります（ここでの年間とは、GIS 基礎技術研究会の開始月（6月）から翌年3月31日までとします。翌年4月から5月の間も利用したい場合はご相談ください）。さらに研究会において、研究内容や実施例等を報告して頂きます。

⑤ NPO 法人環境システムフロンティアに入会ご希望の方は、申込書の入会希望欄にご記入下さい。

⑥ 本年度も引き続き、GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人環境システムフロンティアの技術啓蒙、普及事業として行います。

<会費のお振込先>

金融機関名：西日本シティ銀行 箱崎支店 口座番号：普通 1552701

口座名：特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

(3) 講演

年8講演の開催を予定しており、3～4回は事例紹介とする予定です。開催方式は、現地講演およびインターネットによるリアルタイム配信を併用したハイブリッド方式となります。時間は、10月、12月および来年2月を除き、午前10時から2時間を予定しています。開催スケジュールにつきましては、<年間スケジュール表>をご参照ください。

(4) 実習

※重要 今年度から、実習で取り扱う地理情報システム（GIS）を ArcGIS Desktop から ArcGIS Pro へ移行致します。ArcGIS Pro は、64ビット環境をサポートするなど性能が大きく向上している一

方、ユーザインタフェース等も一新されており、洗練されてはいるものの操作や使用感が ArcGIS Desktop と異なります。そこで、移行初期となる今年度においては、ArcGIS Pro の基本的な操作習得を目的とした「初級コース」のみを標準の実習として実施致します。なお、例年実施している「応用コース」は、ArcGIS Desktop のフォローアップも兼ねて、夏季特別コースとして短期集中で実施致します。

■ 内容：実習は下記の 3 つのコースに分かれて実施する予定です。

- ① ArcGIS 初級コース ArcGIS Pro の基本的な操作からデータの作成や解析，マップシェアリング等の基礎技術を習得することを目的とします。
- ② 夏季特別コース ArcGIS Pro への移行期間のフォローアップとして，例年の ArcGIS Desktop による応用コースに該当する実習を 2 日間程度の短期集中型で実施致します。ArcGIS Desktop の基礎的な操作を習得している方を対象に様々な GIS 解析を実行するために使われるプロセスやツールを紹介します。また，参加者側が準備した自主的テーマまたは具体的な実問題に対して個別に技術相談，実習指導も行う予定です。
- ③ 個別テーマコース 業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。希望者に応じて実施致します。

■ 開催日

年 8 回（8 テーマの実習）を実施する予定です。時間は，10 月を除き，午後 1 時から 4 時までの 3 時間となっております。スケジュールは＜年間スケジュール表＞をご参照ください。

■ 場所：九州大学 伊都キャンパス（ウエスト 2 号館は③，CE40 は④になります。）

地図：https://www.kyushu-u.ac.jp/f/43104/2021ITO_jp.pdf

＜年間スケジュール表＞ ※黄色が例年とは変更となっています※

開催日	講演 ¹⁾		実習 ²⁾	
	午前	午後	午前	午後
6/19 (第 3 土)	●	—	—	●1
7/17 (第 3 土)	●	—	—	●2
8/21 (第 3 土)	●	—	—	●3
9/18 (第 3 土)	●	—	—	●4
10/16 (第 3 土)	—	—	●5	●6
11/20 (第 3 土)	●	—	—	●7
12/11 (第 2 土)	—	●	●8	—
2/5 (第 1 土) ³⁾	—	●	—	—

注 1) 講演会場は附属環境工学研究教育センター（CE40）2 階を予定。（変更の可能性あり。）

注 2) 実習の各コースの実施会場は以下のとおりです。

初級コース：ウエスト 3 号館 816 号室

注 3) 2 月の講演は午後から講師 2 名，その他 1 名を予定しております。

＜ご来場について＞

①お車でのご来場

入門ゲートにてメールで送付される「案内」を提示いただければ，無料にて入構できます。

また，附属環境工学研究教育センター（CE40）周辺に駐車スペースがございます。

②公共交通機関でのご来場

以下サイトをご参照ください。

GIS 基礎技術研究会 ホームページ：<https://asia.doc.kyushu-u.ac.jp/NPO/gis.html>

【問い合わせ・返送先】

GIS基礎技術研究会事務局 E-mail：gis.kenkyukai@gmail.com（担当：緒方，谷口，本田）

令和3年度 実習及び技術相談

実習は、年8回、伊都キャンパスにて実施します。なお、実習に必要なソフトウェアは無料で配布致します（ただし、九州大学内の使用に限ります）。また、Wi-Fiによる無線LAN環境を用意する予定ですので、可能な限り、無線LAN搭載パソコンを持参して頂きますようお願い致します。

(1) ArcGIS 初級コース

本コースは、GISに触れたことがない方、またはArcGIS Proの操作に自信のない方を対象としてArcGIS Proの基本的な操作方法を習得し、深めてもらうことを目的としています。このコースで学ぶ操作は、これからGISを利用していく上で最も基本となる部分です。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

6月	第1回	GISとは ArcGIS Proの基礎(1) 1. インターフェイスの名称と役割 2. フィーチャの検索・選択, プロパティの変更 3. データ形式の変更 4. 属性検索・空間検索
7月	第2回	ArcGIS Proの基礎(2) 1. データ表示(シンボル, ラベル, アノテーション, 縮尺, 表示範囲) 2. 空間参照の原理, 空間参照の設定, 変換 3. レイアウトの作成と出力
8月	第3回	テーブルデータの連携, GISデータの作成・編集 1. テーブル結合とリレート 2. 新規フィーチャの作成 3. フィーチャの修正
9月	第4回	地図の追加・空間分析・画像データの利用 1. WMTSサービスの追加 2. ジオプロセッシングウィザード 3. ジオリファレンス
10月	第5回	空間分析(Spatial Analyst)(1) 1. (距離ユークリッド距離, コスト距離, コストパス等) 2. ラスタの再分類 3. ラスタ演算
	第6回	空間分析(Spatial Analyst)(2)と3Dデータの利用・表示 1. 内挿(IDW, スプライン, クリギング) 2. サーフェス解析(コンター, 傾斜角, 傾斜方向等) 3. 3D Analystと3D表示
11月	第7回	ワークフローの自動化, ModelBuilderの作成 1. タスクの作成 2. ModelBuilderの作成
12月	第8回	総合演習

<講師> 池崎, 菅原, 成清, 伊藤, 堀, 宮脇, 八木

(2) 夏季特別コース

ArcGIS Pro への移行期間のフォローアップとして、例年の ArcGIS Desktop による応用コースに該当する実習を 2 日間程度の短期集中型で実施する予定です。実施内容は、以下のとおり、例年の ArcGIS 応用コースに準じるものとなります。開講日時と内容が決定次第、別途メールにてご案内致します。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

ジオデータベース	1. ジオデータベースの作成 2. サブタイプ・ドメイン
トポロジ	1. トポロジの作成 2. トポロジの編集
ジオプロセッシングと解析ツールボックス	1. ジオプロセッシングツールと解析ツールボックス 2. 解析ツールボックス
ラスタ解析	1. ラスタデータとは 2. ラスタレイヤの作成
画像解析	1. リモートセンシングとは 2. 画像解析 3. 画像分類
ネットワーク解析	1. Network Analyst の基本 2. ルート解析, 到達圏解析等の様々な解析
水理解析	1. 集水システムの概要 2. 水理解析による集水域等の作成
ModelBuilder	1. ModelBuilder とは 2. モデルの作成とモデルツールとしての利用

(3) 個別テーマコース

業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。

<講師> 三谷, 谷口, 本田

以上

NPO 法人環境システムフロンティアのご案内

NPO 法人環境システムフロンティアは、開発と環境の調和をめざす望ましい社会基盤を構築し、維持していくための情報技術、建設技術、環境技術などの研究開発、応用、普及などの活動を行い、その活動を通じて行政やその他の団体と市民・地域との連携を支援し、社会教育、まちづくり、環境保全、防災、国際協力の推進に寄与する活動を行っております。

令和2年度は次の活動を行いました。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業（糸島市，大野城市）
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業（佐賀県多久市・唐津市，福岡県糸島市・東峰村）

令和3年度は次の活動を予定しております。

- ・ 社会教育の推進を図る活動：GIS 基礎技術研究会
- ・ 地域安全活動：災害リスクコミュニケーション支援事業
- ・ 情報化社会の発展を図る活動：地方自治体へのクラウド基盤の提供事業

本 NPO の会員の方々には、上記の活動に参加いただくことが可能となります。この他にも本 NPO では、環境の保全を図る活動、災害救援活動、国際協力の活動も可能となっており、本 NPO に入会頂くことで本 NPO の一員としてこれらの活動が可能となります。GIS 基礎技術研究会への参加とともに、ぜひ入会をご検討頂けましたら幸いです。

（本 NPO への入会に際して、GIS 基礎技術研究会の参加費に追加される費用負担などの追加は一切ありません。）

入会に際して、ご不明な点がございましたら、GIS 基礎技術研究会事務局宛にメールにてご連絡ください。

以上